

平成27年度 成果発表会

NPO法人 研究実験施設・環境安全教育研究会 (Research for Environment, Health and Safety Education, REHSE)では、高校生、高等専門学校生による「環境安全」と「リスク」に関する自主研究活動支援事業を展開しており、本事業の「平成27年度成果発表会」を下記のとおり開催いたします。

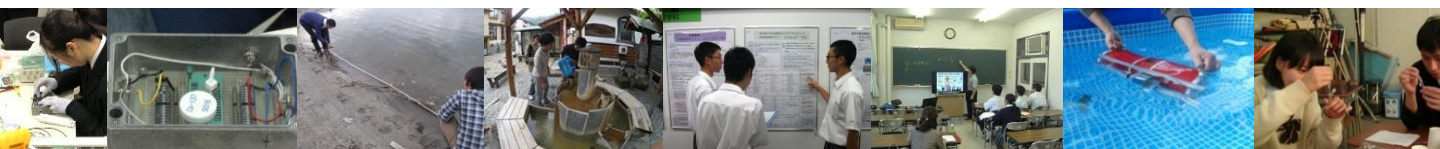
本事業は、高校生自らが環境安全やリスクに関連のある研究テーマを決め、調査し、報告書としてまとめ、発表し、相互に意見交換する活動を支援するものです。本発表会では、その成果について発表(プレゼンテーション)を行い、厳正な審査の上、最優秀校等を決定・表彰をいたします。ぜひご来場ください。

入場無料

平成28年3月13日(日) 9:00~15:00

東京大学本郷キャンパス 工学部11号館講堂

(※ 地図、および、お申し込みは裏面をご覧ください)



プログラム

- 9:00 開会あいさつ
活動概要および審査方法説明
- 9:10 成果発表 (9校) ※ 発表時間10分+質疑10分
- 12:45 昼食
- 13:30 特別講演

「身の回りの安全とリスクを科学しよう！
—食の安全—」



東京大学
本部ライフサイエンス研究倫理支援室
三浦竜一教授

- 14:30 審査結果発表、講評、表彰
- 14:45 アンケート、記念撮影
- 15:00 解散

発表校

- 麻布高等学校 (東京都)
- エクセラン高等学校 (長野県)
- 大分県立大分舞鶴高等学校 (大分県)
- 埼玉県立不動岡高等学校 (埼玉県)
- 高槻高等学校 (大阪府)
- 東京都立戸山高等学校 (東京都)
- 八戸工業大学第二高等学校 (青森県)
- 福島県立福島高等学校 (福島県)
- 愛媛県立松山東高等学校 (愛媛県)

【実行委員会】 (順不同)

委員長: 飯本武志氏 (東京大学)

委員: 大島義人氏 (東京大学)

山本仁氏 (大阪大学)

吉識肇氏 (理化学研究所)

事務局: 伊藤 通子 (REHSE)

黒木智広氏 (富士電機株式会社)

春原伸次氏 (株式会社ダルトン)

新田浩氏 (株式会社千代田テクノ)

森脇健夫氏 (三進金属工業株式会社)

中原 愛 (東京大学)



アクセス

【会場付近図】

会場: 東京大学工学部11号館1F講堂

〒113-8656 東京都文京区本郷7-3-1



【最寄駅】

東大前駅(東京メトロ南北線) 1番出口徒歩6分

本郷三丁目駅(東京メトロ丸の内線) 徒歩10分、

本郷三丁目駅(都営地下鉄大江戸線) 4番出口徒歩11分

春日駅(都営地下鉄三田線、都営地下鉄大江戸線) A6出口徒歩12分

【行き方】

正門から入り左折して、シックな外観の建物(1Fにスターバックスコーヒー有)

参加申し込み

聴講ご希望の方は、以下の項目を記載の上、メールにてお申し込みください。

【必要事項】

氏名(フリガナ)、ご所属・学校名、メールアドレス、住所

【メール送り先】

E-mail: jimukyoku@rehse2007.com

お申込み・お問い合わせ

特定非営利活動法人 研究実験施設・環境安全教育研究会(NPO法人REHSE)

「平成27年度 高校生による環境安全とリスクに関する自主研究活動支援事業」事務局

〒277-8563 千葉県柏市柏の葉5-1-5 環境棟468号室 大島教授室方

E-mail: jimukyoku@rehse2007.com, Tel : 080-4383-2007

■理事長挨拶

NPO法人 研究実験施設・環境安全教育研究会 (Research for Environment, Health and Safety Education, REHSE) は、「教育研究活動の持続性を維持しながら、実験研究を安全に行うために、大学に身を置く人々がそれぞれの立場で何を考え何をすべきなのか・・・」、そのような素朴な気持ちから立ち上がった実験研究現場を中心とするNPO法人です。

REHSEはこれまでに、大学や高専の教員・環境安全管理職員・メーカー・設計者等が一致協力して大学等の実験教育環境の底上げを目指し、「安全基準策定に関する研究」「各種評価ツール開発」「啓発のための出版」などの幅広い取り組みを精力的に展開しており、これらの成果の更なる深化と有効活用を目指すとともに、実験研究現場のネットワークを充実させ、普及促進活動による教育実験環境の底上げに邁進しております。

そのような活動の一環として、平成25年8月、本事業第1回「高校生、高等専門学校生による環境安全とリスクに関する自主研究活動支援事業」をスタートし、今年度は3回目となります。将来を担う高校生世代が、環境安全やリスクに関して自主的に研究し、自らの言葉で意見発信する機会を提供することは、NPO法人 REHSEとしての重要な事業の一つであると位置づけており、そのためのご支援を産学から広く賜うことができれば、大変ありがたく思っております。引き続きのご理解とご支援をよろしくお願い申し上げます。

末筆になりましたが、本事業の趣旨に賛同し、多大なる支援をいただきました各社殿に対し、ここに深く感謝申し上げます。

NPO法人 研究実験施設・環境安全教育研究会 理事長
大島 義人



「高校生による環境安全とリスクに関する自主研究活動」を応援します！

義務教育を終えた世代が、科学技術進展や利用について関心を高めるだけでなく、身のまわりの環境安全や様々なリスクについて自主的に研究するこの活動は、バランス良く判断できる社会人になるための第一歩になると考えます。友人と話し合い、報告書をまとめ、自らの成果を発表する過程で、意思決定のプロセスや、他の意見を上手に聴くことができるスキルも身につけられるでしょう。産学連携による支援体制を存分に活用し、是非多くのことを経験し、吸収し、自らの意見を発信してください。

高校生諸君による活動の成果に、大いに期待しています。

文部科学省 初等中等教育局 視学官
清原洋一

見学会・成果発表会 スケジュール

【3月12日(土)】

- 13:55 理化学研究所横浜キャンパス集合
- 14:00 全体概要、スケジュール説明
- 14:05 理化学研究所横浜キャンパス見学
遺伝子解析施設・NMR施設、
液化ヘリウム製造施の見学
- 17:30 宿に到着
- 18:00 夕食会
自由時間(入浴等)
- 19:30 交流会
・高校自慢と自己紹介
・大学生や研究者との交流
- 22:30 初日終了

【3月13日(日)】

- 7:00 朝食
- ～8:15 退館、会場に徒歩で移動
- 8:30 工学部11号館講堂に集合
- 9:00 開会挨拶
- 9:10 事業紹介、審査方法の説明
- 9:20 成果発表会(各校発表10分+質疑応答10分)
- 12:45 昼食
- 13:30 特別講演
「身の回りの安全とリスクを科学しよう！
—食の安全—」
講師
東京大学 本部ライフサイエンス研究倫理支援室
三浦竜一教授
- 14:30 審査結果発表、講評、表彰
- 14:45 アンケート、記念撮影、等
- 15:00 解散

◎麻布高等学校 麻布学園化学部環境調査班
「二酸化炭素の有害性」—CO₂フル社会—

◎エクセラン高等学校 環境科学コース3年
「福島原発事故以降、長野県での放射能の影響
～なぜ野生きのこ・山菜・野生動物肉・
焼却灰について放射線が検出されるのか？～」

◎大分県立大分舞鶴高等学校 科学部地学班
「大分市街地におけるヒートアイランド対策」

◎埼玉県立不動岡高等学校 SSC放射能班
「風評被害とどう向き合うか —福島原発事故の現状と今後—」

◎高槻高等学校 実験室環境改善チーム
「実験室が化学物質に汚染されないために
—ドラフトチャンバーへの空気の流れの研究—」

◎東京都立戸山高等学校 放射線班
「遮蔽物の形状による放射線防護 —宇宙開発に向けてのβ線の遮蔽—」

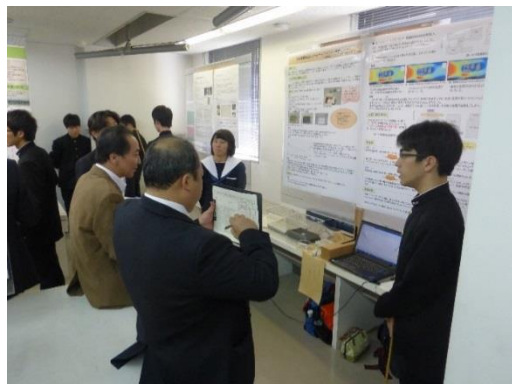
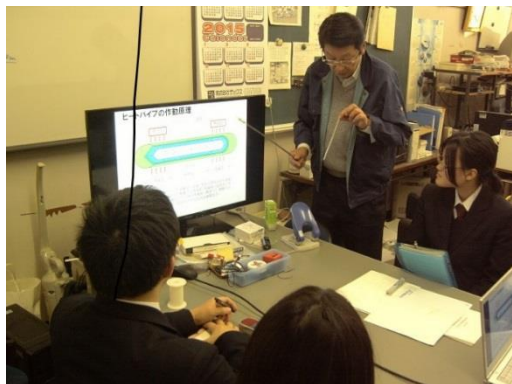
◎八戸工業大学第二高等学校 Niko 科学愛好会
「熱発電利用の可能性を探る —身近な温度差の活用を模索する—」

◎福島県立福島高等学校 スーパーサイエンス部放射線班
「福島県内外の高校生個人線量調査」

◎松山東高等学校 化学部COD測定班
「松山市とその周辺の河川の水質調査 —きたないところはなぜきたないのか—」

H27年度 活動アルバム

6月～
各高校で
研究活動



3月 東京大学を会場に発表会

優秀賞の
大分舞鶴も
新聞に



最優秀賞
エクセラン高校(長野)



地元の
新聞に
掲載!



活発な議論



発表会場の様子

発表会前夜の交流会



※ 理化学研究所の見学も行いました